

自由設計の大断面加工を効率化

設計に合わせて接合部を自動生成

ネットイーグル

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は、非住宅・大断面对応の構造CAD「XF15」の機能を拡張し、あらかじめ仕様が決められていない自由設計の大断面材でも加工データを自在に作成できるようにした。

これにより、製作金物を使った大断面材の入力、積算、加工を効率化でき、プレカット工場の生産性の向上につながる。プレカットの生産性を競争力に変え、中・大規模木造の普及拡大を目指す。

大断面材を使った木構造には金物によって接合部の仕様（設計のルール）があらかじめ決められた工法と、自由な設計に合わせて接合部を作る（接合強度に応じて金物を製作する）工法の2通りあり、後者の工法でプレカット加工をする場合、従来は接合部の仕様を

1本ごとに入力する必要があった。

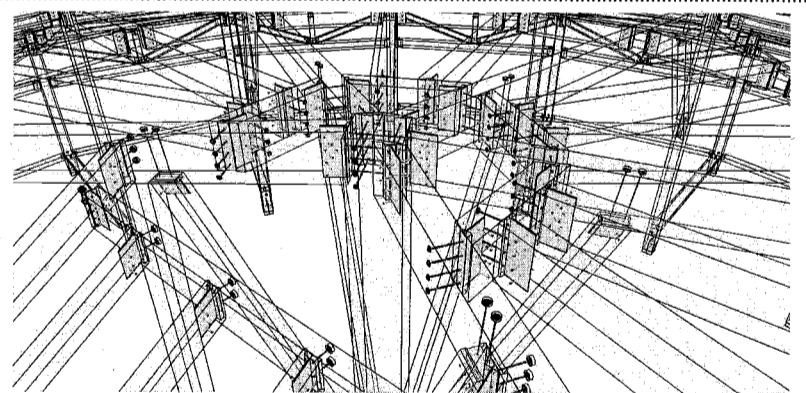
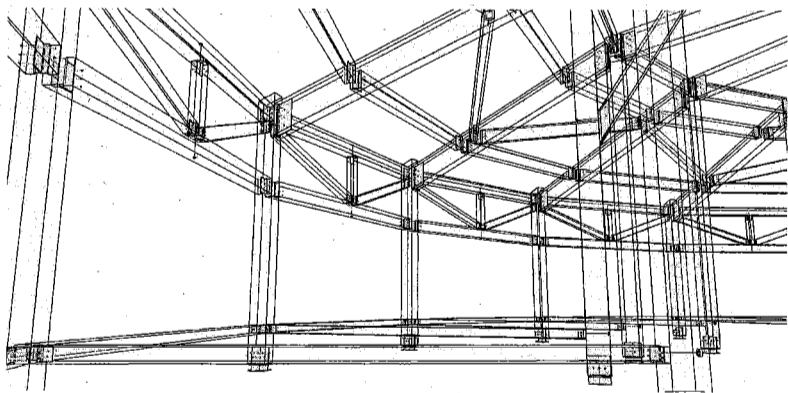
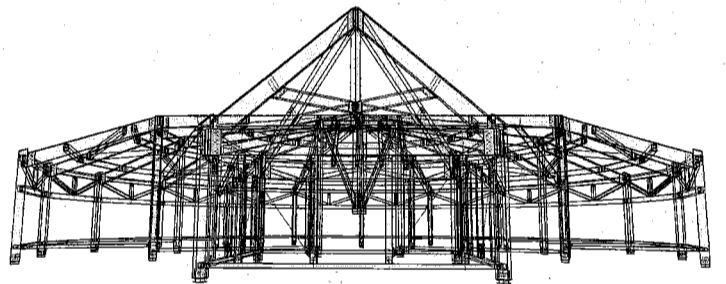
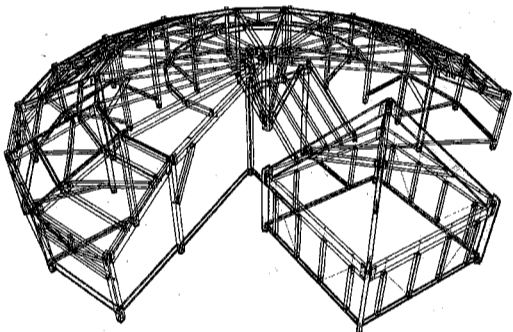
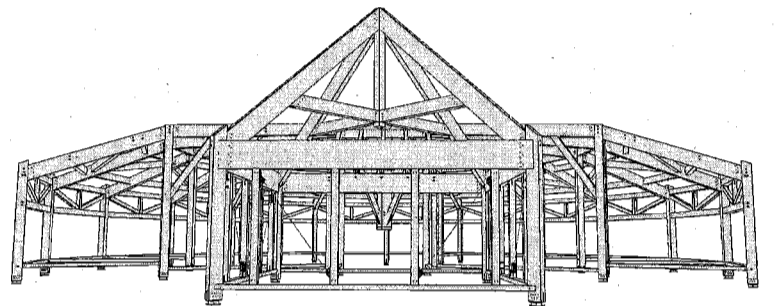
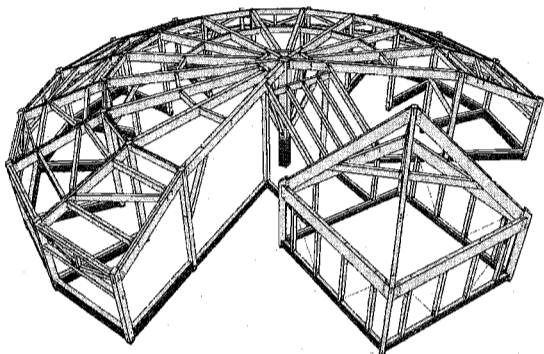
今回のバージョンアップでは設計に合わせて自動で金物を生成できるようになり、木造ドームのような斜めの材にさらに斜めの材が取りつく場合や1カ所に2本の材が取り付く場合などにも1本ごとに入力する手間がなくなった。加工データが作れば積算も自動化でき、生産は一気に合理化される。

プレカット業界では新設住宅着工が中・長期的に減少傾向となるなか、中・大規模木造の需要開拓が課題となっている。主要構造材に大断面材を使う大型建築はもとより、大部分は既存の加工機で加工できる中規模建築でもホールなど部分的に大断面材を使うケースは少なくない。既存のプレカットCADと連動するXF15なら、在来軸組と大断面の組み

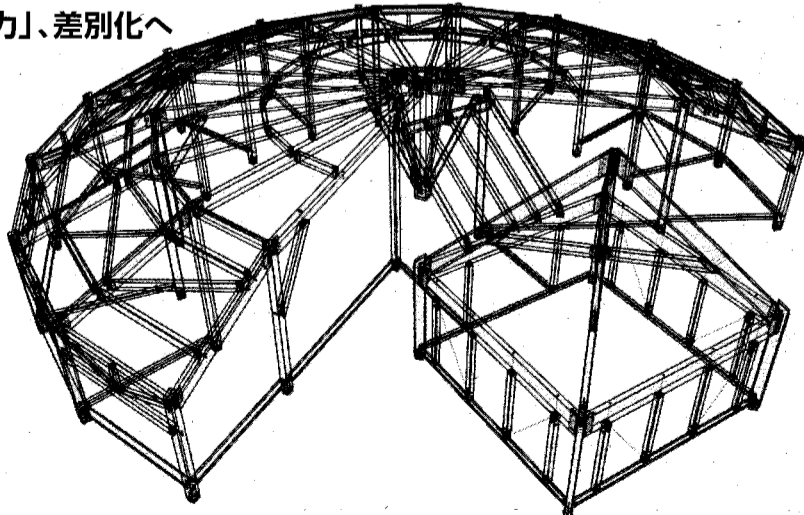
合わせも自在にできる。

ただ、部分的な利用のみのために加工機を導入するのは企業の負担が大きいことから、ネットイーグルでは大断面の加工を外注できるネットワーク作りを提唱している。一方では「大断面材の加工を制する者が大型物件を制する（大断面材を加工できる工場に受注が集まる）」との考え方から大断面加工機を導入する企業も増えており、こうした企業を軸にネットワークを作ればより効率的な加工体制が構築できると見ている。

祖父江社長は「非住宅のボリュームゾーンは保育園や高齢者施設など比較的小規模な物件で、こうした物件の加工はプレカット工場に向いている。構造計算を含めてシンジケートを作りたい」と話す。



問われる「総合力」、差別化へ



非住宅・大断面对応 プレカットCAD

OPEN-NET XF15

バージョンアップ進化版

木材利用促進法で

木造大型建築物は成長分野へ

業界初のプレカットCAD/CAM対応

NET EAGLE

ネットイーグル株式会社

<http://www.neteagle.co.jp>

◆本社

〒819-0001

福岡市西区小戸

3-54-50

050-3536-5961

◆中部テクノセンター

〒483-8213

愛知県江南市古知野町

朝日165 ナガタニビル3階

050-3538-0221

◆新東京CADセンター

〒108-0023

東京都港区芝浦2-14-7

オーゼネクスサス芝浦5階

050-3533-2894